

# 新潟県公民館月報

昭和32年11月10日(毎月1回20日発行)  
 発行所 新潟県公民館連絡協議会  
 (新潟市寄居町・越後日赤会館内)  
 発行人 丸山直一郎  
 (定価 一部五円)  
 10. 11 月号 (57号)



……… 写真は大開會式 ………

## 公民館は果して

### 市町村の実態に則して来たか

五部会と二回のパネルで真剣に討議

#### 第八回県大会終る

◎主催・県教委・県公連・長岡市  
 教委◎後援・県市長会・県市議連  
 会・県町村会・県町村議会議長会  
 ・県町村会・県町村議会議長会・県連  
 青奥婦人連盟・PTA連絡協議会  
 ◎主管・長岡市公連の第八回新潟  
 県公民館大会は、快晴に恵まれた  
 十月十五日(火)十六日(水)の  
 両日、長岡市長岡公民館で開催さ  
 れた。第一日は、九時より受付、  
 十時より開会式。国歌斉唱、長岡  
 市合唱団による公民館の歌合唱、  
 石井副会長の開会の辞の後、高月  
 県教委、丸山会長、小川長岡市教  
 育委員長の挨拶があり、鈴木副知  
 事、岡田県会議長、長岡市匠山助  
 役の祝辞祝儀ひょうがあった。

この後、表彰式。前副会長鹿野  
 愈氏、柳沢敬隆氏に対し感謝状、  
 前栃尾市館長石綿政治氏、前十日  
 町市館長山内正豊氏、前神林村主  
 事森田廣慶氏に対する功勞表彰、  
 佐藤善美氏外七氏の館長ならびに  
 丸田昭三氏外二十四氏に対する優  
 良職員表彰、刈羽村公民館、岩室  
 村公民館、赤沼村公民館に対する  
 優良公民館表彰が行われた。

次いで「長岡城の囀り」のレク  
 リエーションの後、文部省社会教  
 育官近藤唯二氏の「社会教育の振で、第一日の日程を終った。  
 教委◎後援・県市長会・県市議連  
 会・県町村会・県町村議会議長会  
 ・県町村会・県町村議会議長会・県連  
 青奥婦人連盟・PTA連絡協議会  
 ◎主管・長岡市公連の第八回新潟  
 県公民館大会は、快晴に恵まれた  
 十月十五日(火)十六日(水)の  
 両日、長岡市長岡公民館で開催さ  
 れた。第一日は、九時より受付、  
 十時より開会式。国歌斉唱、長岡  
 市合唱団による公民館の歌合唱、  
 石井副会長の開会の辞の後、高月  
 県教委、丸山会長、小川長岡市教  
 育委員長の挨拶があり、鈴木副知  
 事、岡田県会議長、長岡市匠山助  
 役の祝辞祝儀ひょうがあった。

午後からは、予定通り、大会主  
 題である「地域の実態に則して公  
 民館について」の講演(別掲)が行  
 われた。  
 写真発表(有線放送について)

## 決議書

公民館が健全に育ち、新しい市町村の建設の上に開花して、真  
 に近代的な郷土建設の礎を築くためには、その指導と援助の  
 任に当る国・県の責任はますます重大であり、従来の指導援助の  
 措置については、なお十分とはいえない。  
 我等は、第八回新潟県公民館大会において、ここにとりあえず  
 緊急要請を要する事項について討議をくらし、次の結論に達し  
 た。国及び県の速やかな採択実施を要請する。

- 一、公民館建設のための措置を強化すること。
- イ、公民館建築起債のわくを認めること。
- ロ、公民館建築補助を増額すること。
- 二、公民館に専任職員を配置する為の指導と援助を強化すること
- イ、職員に身分を法の上で明らかにすること。
- ロ、専任職員配置に要する経費の補助を復活させること。
- ハ、職員研修のための施設を充実強化すること。

昭和三十三年十月十六日

#### 第八回新潟県公民館大会

民館活動のあり方について」の五館について、善則公民館の後公  
 つの部会とパネル(別掲)があつた。民館職員は斯く希望する」のパネ  
 ルがあつたが、この討議終了時に  
 「本大会を運して、現在の公民館  
 活動のあり方を打開するため、国  
 及び県の責任を指摘し、その善処  
 方を要請する」決議の緊急動議が  
 提案採択された。会長指名の起草  
 委員五氏による別掲決議案は、満  
 場一致承認され、文部省、社会教  
 育審議会、余公連、県知事、県社  
 会教育委員、県議会宛要請するこ  
 とになった。  
 以上で、二日間の日程は終わった  
 わけであるが、最後に、堀井副会  
 長の閉会の辞、万才三唱があつて  
 有意義だった今大会の幕を閉じた  
 のである。

## 大会参加者

### 職能別数

職能別	市外	市内	計
公民館職員	二二	五二	七四
運籌委	五三	五二	一〇五
教委職員	二五	六	三一
教育長	一八	〇	一八
教育委員	一〇	三	一三
市町村長	六	一	七
職員	七	七	一四
社教委員	一六	七	二三
婦人会	一八	五	二三
青年団	九	三	一二
学校長	二五	一	二六
教職員	二	二	四
PTA役員	五	二	七
その他	八	五	一三
計	四四	三五	七九

# 新村意識高揚の中心

## 岩室村公民館

岩室村は彌多牟連降腹背の岩て産振振脚のために、酪農果樹の密着の両村が合併して養ひひろ導入による新農村建設に協力し産がる人口七五〇〇の村である。農業教育を重視し、団体を協力して村岩室と漁村間瀬と事情の異なる二婦人教育、青年教育の振興と将来村の合併による新村には新たな社会教育の構想が必然的に要請されを進めた。殊に青年学級には、農た。ここに、分館四、専任職員三名で活発な活動がた。学級が専任講師四人で四年間継続ゆみなくつづけられ、成果をあげている。

この「新村意識」の高揚が村意一年度県新生活運動指定村として運動の第一として公民館が中心となつて、全道若年の集会の開催をよびかけて進出した。ひろい地域に散在する部落に出かけることは容易でなく、公民館職員の手前はみなみなならぬものがあつたが、村指導層の熱意と住民の協力による敷次に言ひ全部落にゆかえられて新しい村治りへの歩調を整え、昨年「新正月の実施」に成功させたことをはじめ各種の改善運動を力強く推進している。又国立公園地区として観光地であることから夏季の海浜における安全遊覧へ積極的の努力を犠牲者無といつて成果をあげている。この

# 優良公民館紹介

岩室村は彌多牟連降腹背の岩て産振振脚のために、酪農果樹の密着の両村が合併して養ひひろ導入による新農村建設に協力し産がる人口七五〇〇の村である。農業教育を重視し、団体を協力して村岩室と漁村間瀬と事情の異なる二婦人教育、青年教育の振興と将来村の合併による新村には新たな社会教育の構想が必然的に要請されを進めた。殊に青年学級には、農た。ここに、分館四、専任職員三名で活発な活動がた。学級が専任講師四人で四年間継続ゆみなくつづけられ、成果をあげている。

この「新村意識」の高揚が村意一年度県新生活運動指定村として運動の第一として公民館が中心となつて、全道若年の集会の開催をよびかけて進出した。ひろい地域に散在する部落に出かけることは容易でなく、公民館職員の手前はみなみなならぬものがあつたが、村指導層の熱意と住民の協力による敷次に言ひ全部落にゆかえられて新しい村治りへの歩調を整え、昨年「新正月の実施」に成功させたことをはじめ各種の改善運動を力強く推進している。又国立公園地区として観光地であることから夏季の海浜における安全遊覧へ積極的の努力を犠牲者無といつて成果をあげている。この



一 岩室村公民館

## 学級活動に成果

### 赤泊村公民館

赤泊村には三八生活学級が十一、成人学級が五つの部落がある。計二十五の学級が生まれそれぞれ生活と取り組んだ共同学習が着実に、小団活動が育つていく。その小団活動の学級の中から一つづつ具体的内容を紹介してみよう。

一、浅生社会学級  
八珍柿の植樹、ナメコの栽培、馬鈴薯の一株栽培、日當野草の計画栽培などが大きな内容である。こは、十七戸の部落であるが、

みせている。公民館施設も、狭いながらも、独立講座に相応しい教育をはじめ各種の教材器具は一応備えられ、充分に活用されて未読活動の浸透がつつづけてはいるが、これに助力

する青年団役員による委員の特別組織も特異の存在である。この整備された態勢で教育委員、公民館、青年団の協力により、農教委の社会教育調査が実施されることになっている。(鳥山)

十年後は八珍柿の収穫だけでも二六六万円の増収が見込まれているといふ。

二、杉の浦生活学級  
ひまが無い。女にはまがされないと云われている慣習の打破。小遣に困る。疲れ困る。この四つの問題を三十三軒の主婦達が皆と組んだ。食卓の改善、山羊の飼育とパン食、女のひまをつくり出し、馬鈴薯の一株栽培、なだねの自作栽培、女にはまがされぬといふ今までの慣習が破られたナメコの栽培、八珍柿の植樹、月掛貯金で小遣いを生み出し、野菜の計画栽培、保存食の研究、菜園の栽培で栄養をとり、疲れに対する対策がわられた。

この村の社会教育活動は対する。みずみまで浸透して来ている。集める公民館でなく、出かける公民館であり、活動を効果的にすすめるためによく連絡をはかり、条件を整える急にはどうしたらよいかと努めている。この村は、耕地の区劃整理が完成し、海岸沿いの砂丘地の高度利用、簡易水道、公民館結集などがすすめられている。これらの新しい動きの目される。三、審議委員二十名を四専門部に分け、それぞれの分野を研究する。

## 教育・福祉活動などを一体化

### 刈羽村公民館

一、職員 教育委員会事務局に社教育係(専任)があり、社会(含む)社会福祉関係、防犯活動(特教育委員(九名)を通じ、地教に内部防犯)は三者一体となり相委の社会教育行政面に反映させ互に協力し、活動をなす。

二、公民館に専任職員二名を置き分館活動を重点にサービスなす。

三、審議委員二十名を四専門部に分け、それぞれの分野を研究する。

四、地域社会の向上、福祉発展のため社会教育活動(公民館を舎八、公民館日体又は社教団体と協力して、各種の実態調査をなし、各々の実態調査をなし、実態に則した計画乃至活動を展開。

五、あらゆる活動に福祉的的手段を併用

六、公民館事業、社会団体事業は相互に連絡し合い、共催できるものは、総べて共催と共催助成を出す。

七、青年団、婦人会、農協、新婦人会

三、竹園青年学級  
この青年三十三名は、消火除、八珍柿の栽培、文庫の発行などに努力している。この新保部落では、部落運動の議員を置いていて、必ず青年から二、三名の議員が選ばれるまでに、青年が成人から認められ、期待がかけられている。今では部落議会の議長まで学級生がつとめている。

四、公民館の新築  
近々合併の気運が出ているが、町村合併の計画に赤泊公民館の新築がかけられている。ここで公民館が独立し、益々その成果が發揮されるわけである。(鳥山)

公民館における  
青年教育研修会  
公民館では新生活運動協会と共催で新生活運動の中核である公民館活動のうち、特に青年教育研修会のため、研修会を開催する。期日は十一月十四日と十六日場所は静岡伊豆長岡町静雲荘講師は 総理府 滝本邦彦氏 千葉大学 徳尾武彦氏外 参加希望者は東京都北区岩淵町二丁目一番地赤泊公民館交付、全公運事務局宛 職名、住所、氏名を申送られたい。

なお、詳細については、県社教課内本会事務局まで照会のこと。

ラフに単独助成をする。  
八、公民館日体又は社教団体と協力して、各種の実態調査をなし、実態に則した計画乃至活動を展開。

九、婦人学級を各分野毎に実施  
一〇、巡回図書は青年会が責任もつて巡回。  
一一、全村的な研修会として社会教育研究会を毎年実施。  
一二、青年研修会を毎年実施。  
一三、公民館結集を実施(現在まで三十七組)  
一四、部落に老人クラブ結成、映画、幻灯などを提供等。

昭和三十三年度

# 表彰優良職員

## 館長の部

佐藤 善美氏・新発田市桑地  
 吉武 義徳氏・見附市葛巻  
 五十嵐治教氏・刈羽黒姫村  
 松村 一雄氏・高田市和田  
 山岸芳治郎氏・糸魚川市糸魚川  
 山岸 恵一氏・糸魚川市下早川  
 湖沼 亮夫氏・糸魚川市浦本  
 富樫 賢雄氏・西津市河崎

## 職員部の部

丸田 昭三氏・柏陰市中央  
 高嶋 真幸氏・新発田市川東  
 山賀 兵一氏・北蒲水原町堀越  
 三村 豊氏・北蒲豊栄町中央  
 磯部富美子氏・村上市中央  
 伊藤 茂治氏・岩船関川村  
 坂垣作五郎氏・岩船朝日村  
 太田 重治氏・高田市中心  
 勝田 健治氏・高田市中心  
 建部 利彦氏・中浦横越村  
 小林 十一氏・新井市斐太  
 岩崎 立丸氏・長岡市十日町  
 水橋 忠司氏・長岡市長岡  
 松本十三雄氏・見附市中央  
 大島 順平氏・見附市今町  
 伊藤 信男氏・南蒲中之島  
 渡部 昇造氏・北角沼堀之内町  
 高橋竹二氏・三島出雲崎町西越  
 小森 善榮氏・刈羽北家村  
 速藤鉄太郎氏・刈羽刈羽村  
 横田 和博氏・刈羽黒姫村  
 富川順二郎氏・刈羽朝日町  
 山本 醇氏・佐渡真野町  
 本間 大雄氏・佐渡赤泊村  
 北川 郡司氏・西蒲峯町



一大会場長岡市長岡公民館一  
 (近くとりこわされるという)



優良公民館表彰  
 代表・赤泊公民館



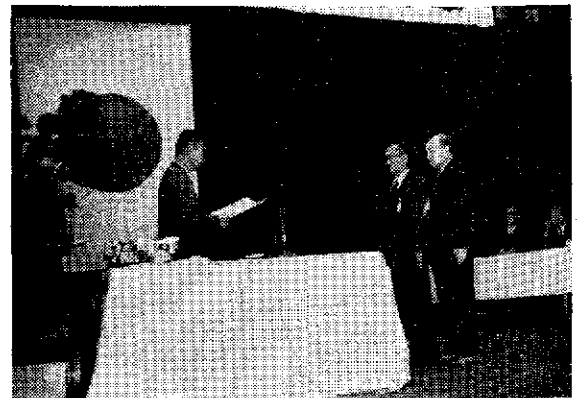
優良館長表彰  
 代表・富樫賢雄氏



優良職員表彰  
 代表・志鴨真幸氏



鹿野 愈氏  
 柳沢 徹氏  
 感謝状贈呈



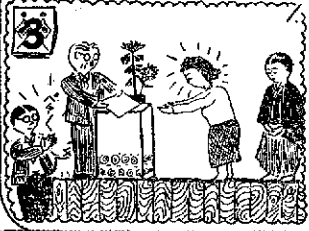
功勞者に対する感謝状贈呈  
 石綿政治氏 山内正豊氏 森田憲蔵氏(欠)



# 公民館どん

## 【第一部会】 行政担当者の立場から見た公民館の現状に対する批判、意見、要望するものは何か。

参集者・市町村理事者、議会議員、教育委員、社会教育委員等  
 司会者・三島郡町村会長 川上文平氏  
 陪席者・石井副会長 飯浜幹事



施設としては、ほとんどが学校出張所を利用しているのではないが、各館では人を育てているが、場が無いのではないかと。これを解決するには、国、県の強力な補助と育成が切に望まれる。

赤子財政の現状よりして、社会教育施設に手が出ないでいるのが現状である。国は三分の一補助などと言わないで、むしろ三分の二補助、残額起債にまらなければ、到底希望を満たす事は出来ないのではなからうか。

公民館の必要性は、各市町村長等としてこれを認めているものと考えるが、財政的に急を要する事業に追われ、思いながらも手が出ない現状ではなからうか。とにかく赤子解消に努力している中、この数年後は、公民館に対しては考え方が異なってくると思つた。

社会教育は誰かがやらなければならぬといふ事は、行政担当者のひつと認めざるを得ないが、仕事のできる職員が配属されない。行政の面を連れている人を得ない。

公民館はあまりにも多くの問題をとり上げないで、二、三の問題にしほり、成果を挙げるべきだ。公民館活動は、婦人会、青年会と結束するように、一般成人ともつ結びつくよう、特別の努力を望む。

公民館の骨折りは良く判るが、あまりにも多くの事をやりすぎるよつた。もつと頭を使つてもらいたい。

青年団、婦人会その他の団体をもつと活発化すべきだ。

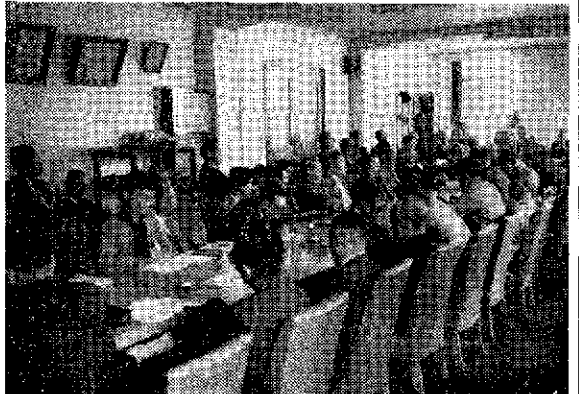
公民館があまり何でもやつてやると、公民館自体で活動がなくなり、各団体も自主性がなくなるおそれがある。

職員だけが働くのではなく、各団体を助長すべきだ。そうした団体を活用することによって、施設職員の貧弱な面にも、道が開けるのではないかと。

公民館の事業が多すぎる。職員がなんでもやらなければならぬと考へている事によつて、常に職員不足と考へるのではない。

成人(おやじ)からも公民館事業に参加して欲しい。公民館は行政機関の下請けではない。

公民館事業に協力して来たものは、婦人会、青年会であつて、一般成人の協力は少なかった。しかし、



し現在の活動は、専ら、青年、婦人対象であつて、成人回ではないではないか。

地域の問題を研究する団体を作り、その結果を全地域住民に知らせるのも一つの方法だ。

行政面に関係のある行事をやつてもいい。一般人に対する働きかけは、職業教育によるのも方法である。行政担当者との横の連絡が不足している。予算要求については、良心的であるべきだ。

**青少年演劇普及 県内巡回公演**

一、主催 県教委、県連青、地元  
 二、期日 十一月十七日  
 三、場所 小千谷市片貝小学校  
 (四)十一月二十三日  
 直江津市南小学校  
 (五)十二月八日  
 新潟市歌林校  
 三、出演団体  
 (一)片貝青年団、関原劇研、六日町青年団  
 (二)直江津河原座、柏崎青年団、関原劇研  
 (三)新潟劇研、新潟白山青年会、中条青年団

① 新潟日報ニュース二十号、五分、全般向。(二)第二回農業文化展(高田)新潟サイクル、ロードレース(電気)と原子博覧会(新潟・上越・中越) 験で究明する。(上越)

② アフ・タイムズ、12・34、30分、全般向。「盟友都市岡山・サンノゼ」、アメリカ、カリフォルニア州、サンノゼ市と岡山市が都市縁組を、岡山市で同時に記念式典を挙げていた時の模様を描いている。「新國家ガール」英連邦の「独立國」として誕生したガールナの歴史とよこびとその國の姿をおさめており、最後の「フットボール」ではスポーツの歴史と特にそれから発展したアメリカン、フットボールを紹介している(新潟・中越)

③ 岸賞相の訪米。41分。全般向 日米協会提供、U S I S 配給

④ フィルム。岸首相今次の訪米記録、ワシントン日米協会年さん会、ナショナル・プレス・クラブでの演説、その他飛行場でのステートメントが、余すところなくとり入れられている。(下越)

⑤ 江戸から東京へ。21分。青少年成人団体。この映画は江戸城に

今も残る昔日の武蔵野のおもかけを偲びながら、この城の盛衰と共に歩んだ日本の首都、東京の姿をえがいたもの。(上越・下越)

⑥ 結婚と睡眠。19分。青少年成人団体。近代医学による結婚の化学療法と外科療法の発達とその事例及び、結婚の精神が師の上部に何故生きるかを動物実験で究明する。(上越)

⑦ 平安美術。18分。青少年、成人団体。平安時代は京都に都が移つてから宮廷を中心とする貴族文化が栄えその中から平家が立ち上つて滅びるまでの四百年である。この時代の美術の特色は中国からの影響をはなれて次第に日本化する点にある。建、造物、絵画、彫刻、書画の四つの中でも各品中の名品をとりあげて、四百年の美術を解説している。(下越)

⑧ 娘は娘、母は母。30分。婦人団体、成人団体。波多野勤子原作。何時の時代でも娘と母は少しづつズレている。反逆期にある娘を持つ庶民階級の母を描いており、母と娘がお互いにズレを埋め、子供たちだけがでなく自分たちの幸福も願つたためにはどうしたらよいか、時代のへたりに生きる母と娘の姿をえがいたもの。(新潟)



### 【第二部会】 婦人及び婦人団体の立場から見た公民館の現状に対する批判、意見、要望するものは何か

地方公民館の大部分は、役場、隣、学校、その他の公共施設の一部に置かれていて、公民館から縁が深い。町村によっては差が甚しい。国や県町村合併で庁舎が新しくなる場で、旧役場等を公民館活動の場として利用したい。

婦人学級は各部落で行っているが、公民館から縁は出ない。町村によっては差が甚しい。国や県町村合併で庁舎が新しくなる場で、旧役場等を公民館活動の場として利用したい。

指導者養成講習会は受講内容のレベルを上げてほしい。

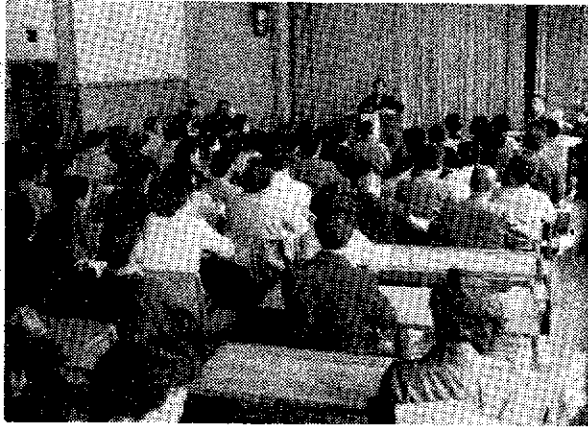
市町村当局は、土木費などには金を出すが、公民館活動にはあまり理解がない。

社会学級は盛んにやっているが、公民館としての役割が、今一つである。もう少し下部のことも考えてもらいたい。

公民館には、青年を受け入れるものとして青年学級だけしかないが、青年団が事業に参加できるような配慮せられたい。

青年団の方も、補助金のようなものをもらう時だけ公民館と行動を共にするのでなく、常に協力すべきだ。

公民館とは、予算などの関係から、共催事業をやるけれども、青年団の自主性を失うことで、主体性を保つたにも、自己の財源を作るべきだと願っている。



専任職員がいないので、巡回映画さえむずかしい。待遇が悪いので、専任職員が辞めた。

名前だけで、出席しない連帯委員は困る。

運営委には、できるだけ青年の代表を多く加えてもらいたい。

青年団活動に理解ある人を専任としてもらいたい。

事業を行う場合、共催分現金として助成してもらっているが、職員の理解の仕方によって大きく左右される。

合併前は町の公民館として、一応の予算を持っていたが、今は一分館として扱われているので、会費予算の配分が無く、ままたこ扱いである。もう少し下部のことも考えてもらいたい。

公民館には、青年を受け入れるものとして青年学級だけしかないが、青年団が事業に参加できるような配慮せられたい。

青年団の方も、補助金のようなものをもらう時だけ公民館と行動を共にするのでなく、常に協力すべきだ。

公民館とは、予算などの関係から、共催事業をやるけれども、青年団の自主性を失うことで、主体性を保つたにも、自己の財源を作るべきだと願っている。

審議委員会代表を三名も出しとして配属するようにはしてもらっている。非常によりよい。公民館とは事業も共催しているし、それによって活動範囲が広くなり、また、公民館活動と青年団運動とが一体となって社会教育を推進させることができる。

県公連としては、県下の職員の対象とした研修を関係し、職員の養成に努めるべきだ。

公民館職員には、事務担当者として任命するのではなく、あくまでも社会教育の立場からの担任者として人材を求めべきだ。

県公連はなぜ関係官庁に対して進言しないのか。もっと活発に運動を展開すべきだ。

### 【第三部会】 青年及び青年団の立場から見た公民館の現状に対する批判、意見、要望するものは何か

審議委員会代表を三名も出しとして配属するようにはしてもらっている。非常によりよい。公民館とは事業も共催しているし、それによって活動範囲が広くなり、また、公民館活動と青年団運動とが一体となって社会教育を推進させることができる。

県公連としては、県下の職員の対象とした研修を関係し、職員の養成に努めるべきだ。

公民館職員には、事務担当者として任命するのではなく、あくまでも社会教育の立場からの担任者として人材を求めべきだ。

県公連はなぜ関係官庁に対して進言しないのか。もっと活発に運動を展開すべきだ。



【第四部会】 学校関係者の立場から見た公民館の現状に対する批判、意見、要望するものは何か

学校職員が公民館職員を兼務したい。することは、あまり望ましい事ではない。

相当の手当を出してある本務者であるべきだ。

学校の一部借用では、いつまでも借借の根性でいねばならぬ。

学校の一部使用は支障が多いから、あくまでも独立館を持つべきだ。

町村合併による旧役場など公民館に利用すべきだ。

学校の建物を使用している中で、学校職員が公民館職員となっていると、ある種の都合がない。

子供を対象とする行事は、学校と話し合い、共催の形が望ましい。

学校の子供を対象にした行事を大いにやってもらいたい。

子供対象の行事よりも、オヤジ教育を大いにやってもらいたい。

学校と公民館が協力して、成人教育を大いにやってもらいたい。

P.T.A.活動には、公民館自体がもっと関心を持ってもらいたい。

P.T.A.を社会教育関係団体にしてのは無理だ。



参集者・学校教職員、P.T.A役員  
司会者・矢川方芳氏 (長岡市新町小学校長)  
陪席者・池田副会長、佐原理事、山本幹事



パネル討論会 I

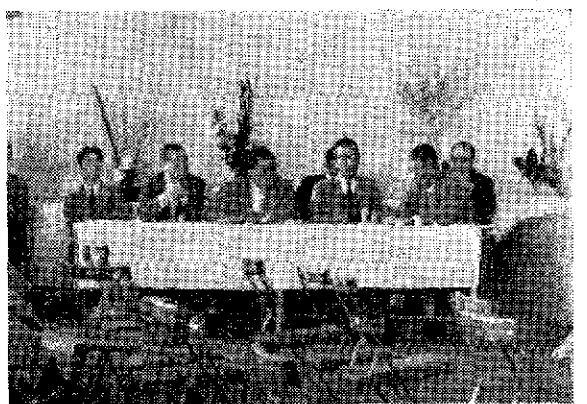
公民館職員は斯く希望する

- 司会者 佐野良吉氏 (十日町・主事)
- 講師 佐藤忠治氏 (大瀧・〃)
- 高橋竹二氏 (西越・〃)
- 松本十三雄氏 (見附・〃)
- 伊藤茂治氏 (関川・〃)



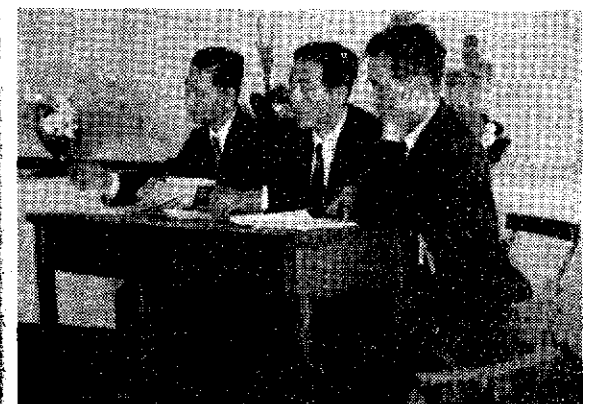
予算の内容が人件費に大部分を占められ、事業費が少ない。予算面のことよりも、住民が公民館にもっと認識をもって近づいてくれる事が大切だ。一般に公民館は与えられたいという考えの方が強く、公民館はもっと教育せよという声が多い。

過渡期の段階では、予算獲得のため、まず理事者の理解を得るための努力が必要だ。理事者の感情に訴えるような手段をとって見た。公民館職員が自転車などで出ていけば、公民館活動が活発になると思いこみ、自ら苦勞を求めていることを反省すべきだ。そんな活動をしているから、職員自身の家庭生活をきせいしなけれはならない。われわれは「明るい家庭生活」という事をいうが、自らは家庭を省みるひまがない。これでは社会教育も氷炭性がない。活発だといわれる公民館では、職員がおれがやっていると「おれがこんなに苦勞しているのが判らないのか」と力んでいるようだが、その苦しい状態を作り出してはいるのではないか。百貨店の活動のぐりかえしでは空転に過ぎない。発展はしない。



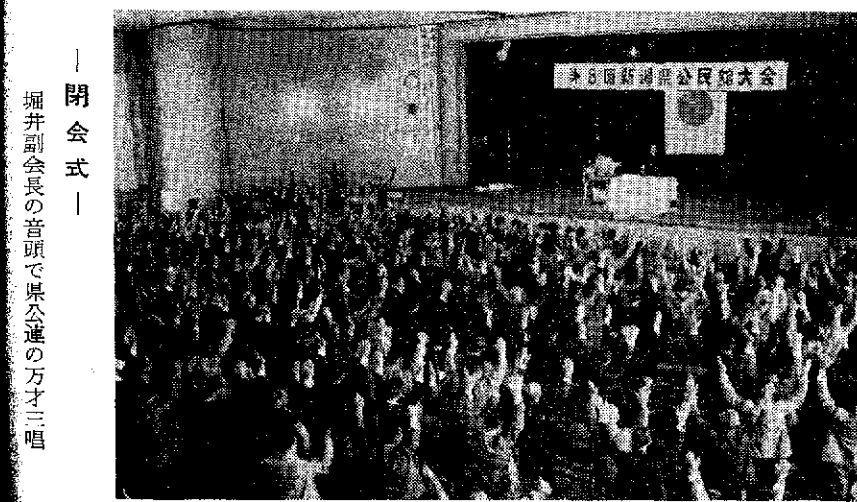
— 会長以下の大会役員席 —

よく二〇〇多公民館(という)事があるが、自前にも上っている活動であれば、一〇〇多公民館でもたくさんと思ふ。重点的にやろうとしても、結局総花式行事になってしまう。要求されているという事は、公民館が理解されているといえる。緑香花火的行事であつてはならないと思ふが、一般に要求されることやつてしまふ。公民館の活動と公民館活動が混同して考えられているのではない。公民館の名前がついていないと、公民館活動ではないと一般から思われている事を是正して行かねばならない。



— 大会場記録者席 —

されていないという事だ。公民館を本質的に理解してもらふよう働きかけ努力しているつもりだが、理事者その他からは理解されていない。われわれは、毎日、役場の各係を巡って、理解と協力を得るよう姿勢を低くする事に努めている。案外根強い封建制が残っていて低い姿勢で近づいても、とかく敬遠されがた。理事者側は、仕事の内容が赤線々になることを嫌っているようだ。「社会教育の事は自前にかせから、万事うまくやれよ」といわれてしまつて困る。教育委員会と公民館との仕事の



— 閉会式 — 堀井副会長の音頭で県公連の万才三唱

分野を明確にしてもらふ必要がある。理事者側から、よく認識してもらわないと活動が思うように行かないので、理事者側とのつながりを良くしてほしい。職員の仕事については、公民館職員の仕事は、日曜も祭日も無いのだ。人が作るものであつて、いざとなれば身分保障の問題を解決してもらふ必要がある。



# 社会教育の定義に論争のある社会教育局

社会教育と一口に言ってもそのから、漠然としているのも無理で、範囲は青少年教育、婦人教育、成はない。一方国民にしても、教育人教育、職業教育、新生活運動、視聴覚教育、体育、レクリエーション、音楽、演劇、美術など、教育あければきりがないほど広い。昭和二十四年に誕生した社会教育法をめぐって、

社会教育の定義を「学校の教育活動を除き、主として青少年を対象として行われる組織的な教育活動」と明記されている。だがこの文章でも決して「ピン」とはでないのではなかろうか。わがややすすいえ、国全部を対象にして健全な社会をつくり、生活と文化の向上をめざした教育、ということになるのではないだろうか。

とにかく、社会教育のいろいろな施設をねらっている文部省の社会教育局の中でも社会教育の定義、観念にはいろいろな論があるのだ。

## 十歳になつた社会教育 うすい一般人の関心 — 日本教育新聞より —

果していいない社会教育の場、三万六千の公民館

こうしてみると仲々たいした状態ではない。すなわち二年間は青年学校や社会教育講座を開いた公民館がどれ位あるか、というところ、青年学校の実施施設が全体の五〇％強、講座、講演、討論会が七〇％強、定期講座五七％強、教育映画五九％程度である。これとあわせて、社会教育講座の開設場所は公民館(六六％)よりも小、中学校(二八％)の方が多しという文部省の調査はなかなかならぬ。一方、いわゆる組織的に活動する社会教育団体がどれくらいあるかというところ、一万八千学級、青年団が約一万八千団体、婦人団体が二万二千団体というほかは、はっきりとはつかめない姿でしか存在してはいない。というのは、たゞ婦人学級というものは地域の婦人たちを集めてひらく認識だが、一時的な組織でしかないから、たゞ青年学級という青年の自学自習団体や青年団、婦人会をのぞいては、公民館や教育委員会が主催したり、あるいは地域の婦人や青年が集って行う成人学級、各種講座も同様それ一回かきりのものに過ぎない。つまり国民全体を対象にするのが社会教育だから、会員名簿をつくらなければならない教育をやることが主ではないといふわけ。

それでは、そうしたいろいろな社会教育講座がどれくらい行われているかというところ、文部省のしるべでは二十九年にこれをを行った地方公共団体は二千三百六十四団体で全体の半分にあたり、講座数は二万九千四十で受講者は男が二・七人、女が五二・五人といった程度である。だから逆算すると社会教育講座を受講したものは一一年間に二百八十九万六千七百六十八人ということになる。これは社会教育が対象とする成人、青少年の総数とは必ずしも一致しない。

この原因の一つに指導者の手数があはれる。その数は全国でおよそ七千人を少し越える程度で

公民館は全国の市町村の八五％が一つ以上もっている。図書館は本館、分館あわせて七百四十二、博物館は三百三十九、視聴覚資料館が五百、社会体育施設が千五十八などである。

一方社会教育施設としてはまず公民館は全国の市町村の八五％が一つ以上もっている。図書館は本館、分館あわせて七百四十二、博物館は三百三十九、視聴覚資料館が五百、社会体育施設が千五十八などである。

公民館は全国の市町村の八五％が一つ以上もっている。図書館は本館、分館あわせて七百四十二、博物館は三百三十九、視聴覚資料館が五百、社会体育施設が千五十八などである。

公民館は全国の市町村の八五％が一つ以上もっている。図書館は本館、分館あわせて七百四十二、博物館は三百三十九、視聴覚資料館が五百、社会体育施設が千五十八などである。

公民館は全国の市町村の八五％が一つ以上もっている。図書館は本館、分館あわせて七百四十二、博物館は三百三十九、視聴覚資料館が五百、社会体育施設が千五十八などである。

公民館は全国の市町村の八五％が一つ以上もっている。図書館は本館、分館あわせて七百四十二、博物館は三百三十九、視聴覚資料館が五百、社会体育施設が千五十八などである。

公民館は全国の市町村の八五％が一つ以上もっている。図書館は本館、分館あわせて七百四十二、博物館は三百三十九、視聴覚資料館が五百、社会体育施設が千五十八などである。

公民館は全国の市町村の八五％が一つ以上もっている。図書館は本館、分館あわせて七百四十二、博物館は三百三十九、視聴覚資料館が五百、社会体育施設が千五十八などである。

公民館は全国の市町村の八五％が一つ以上もっている。図書館は本館、分館あわせて七百四十二、博物館は三百三十九、視聴覚資料館が五百、社会体育施設が千五十八などである。

公民館は全国の市町村の八五％が一つ以上もっている。図書館は本館、分館あわせて七百四十二、博物館は三百三十九、視聴覚資料館が五百、社会体育施設が千五十八などである。

公民館は全国の市町村の八五％が一つ以上もっている。図書館は本館、分館あわせて七百四十二、博物館は三百三十九、視聴覚資料館が五百、社会体育施設が千五十八などである。

公民館は全国の市町村の八五％が一つ以上もっている。図書館は本館、分館あわせて七百四十二、博物館は三百三十九、視聴覚資料館が五百、社会体育施設が千五十八などである。

公民館は全国の市町村の八五％が一つ以上もっている。図書館は本館、分館あわせて七百四十二、博物館は三百三十九、視聴覚資料館が五百、社会体育施設が千五十八などである。

公民館は全国の市町村の八五％が一つ以上もっている。図書館は本館、分館あわせて七百四十二、博物館は三百三十九、視聴覚資料館が五百、社会体育施設が千五十八などである。

公民館は全国の市町村の八五％が一つ以上もっている。図書館は本館、分館あわせて七百四十二、博物館は三百三十九、視聴覚資料館が五百、社会体育施設が千五十八などである。

公民館は全国の市町村の八五％が一つ以上もっている。図書館は本館、分館あわせて七百四十二、博物館は三百三十九、視聴覚資料館が五百、社会体育施設が千五十八などである。



佐倉義民伝?

公民館は全国の市町村の八五％が一つ以上もっている。図書館は本館、分館あわせて七百四十二、博物館は三百三十九、視聴覚資料館が五百、社会体育施設が千五十八などである。

公民館は全国の市町村の八五％が一つ以上もっている。図書館は本館、分館あわせて七百四十二、博物館は三百三十九、視聴覚資料館が五百、社会体育施設が千五十八などである。

公民館は全国の市町村の八五％が一つ以上もっている。図書館は本館、分館あわせて七百四十二、博物館は三百三十九、視聴覚資料館が五百、社会体育施設が千五十八などである。

公民館は全国の市町村の八五％が一つ以上もっている。図書館は本館、分館あわせて七百四十二、博物館は三百三十九、視聴覚資料館が五百、社会体育施設が千五十八などである。

公民館は全国の市町村の八五％が一つ以上もっている。図書館は本館、分館あわせて七百四十二、博物館は三百三十九、視聴覚資料館が五百、社会体育施設が千五十八などである。

公民館は全国の市町村の八五％が一つ以上もっている。図書館は本館、分館あわせて七百四十二、博物館は三百三十九、視聴覚資料館が五百、社会体育施設が千五十八などである。

公民館は全国の市町村の八五％が一つ以上もっている。図書館は本館、分館あわせて七百四十二、博物館は三百三十九、視聴覚資料館が五百、社会体育施設が千五十八などである。

公民館は全国の市町村の八五％が一つ以上もっている。図書館は本館、分館あわせて七百四十二、博物館は三百三十九、視聴覚資料館が五百、社会体育施設が千五十八などである。

公民館は全国の市町村の八五％が一つ以上もっている。図書館は本館、分館あわせて七百四十二、博物館は三百三十九、視聴覚資料館が五百、社会体育施設が千五十八などである。

公民館は全国の市町村の八五％が一つ以上もっている。図書館は本館、分館あわせて七百四十二、博物館は三百三十九、視聴覚資料館が五百、社会体育施設が千五十八などである。







〔諮問事項〕

町村合併後における社会教育行財の整備充実をはかるための方策は如何にあるべきか

県教育委員会は社会教育の振興について標榜の諮問事項を県社会教育委員会に発したが、今回、県社会教育委員会は数回の会合の結果、緊急を要するものとして次にかけた答申を行った。

答申(第一次)

昭和二十八年八月十日、町村合併促進法が施行されてから四年の才月を経て、七市三七七町村は十九市二〇〇町村に変わり、町村の規模は拡大強化されその行財政的基盤は強固なものとなった。町村の古い歴史を閉じて住民の福祉向上を旨とする新しい市町村の建設は着々進みつつある。

しかしながら、一歩立ち入って住民の美情の底にメスを入れるならば、希望を遂げ欠いた頽廢的傾向と、謙約な生活の構えは残存し、生活の向上を妨げる封建的な習わしが隨所に見受けられる。このような状態の中で、政治的にも経済的にも自立の基礎を固め、因習を打破し、更に民主的・文化的な進歩のできる市町村を建設するために、何よりもまず新しい市町村民として「人心の和」と新しい時代に即応する市民としての自覚を促し、そのうえに立つ自主的な社会教育活動が活発に展開されること必要欠くべからざる要件であると考えられる。

情は、新しい社会教育に対する理工建設の機を希うためには、市解が浅く、その特性を重視すること。町村社会教育の指導の任に当る県となく形式的な整理統合が考えられ、教育委員会の責任はまことに重大な教育のセンターとなるべき公民館とを許されないと考え、ここに取は縮小され、職員は一般行政部門に吸収され、教育委員会の社会教育事務は職員も設けられないままに達した。

が多いと考えられる。県教育委員会は速かにこれが是正のための施策を検討し、市町村の協力を得て社会教育担当の専任職員が全市町村に漏れなく早急に設置されるよう努力されるべきである。

(2) 市町村における社会教育委員の設置を促進し、その研修の機会を提供すること。

社会教育の内容及方法・対象等が一部に偏することなく、総合的に能率的にその効果を収めよう行政区域内における社会教育の全分野に亘って調査審議することは町村合併後における社会教育行政の企画に実践に際し、当然行われるべきことであり、教育委員会の諮問機関としてそのことに当る社会教育委員は、合併によって地域が拡大し、事情を異にする地域と住民を併せ持った今日の新市町村にあって、欠くことの出来ない必須の機関と考えられる。

市町村の教育委員会、社中、農協などの機能性をもつて行われるべき社会教育の特性を生かし、その効果を上げるためには、専任職員なしてはその実施は期し難く、合併しては最少一人の専任職員を併した町村に最少一人の専任職員を設置するよう強力な指導と援助が行われるべきであると考えられる。かかる県下市町村における社会教育専任職員設置の事情は別表のとおりであり、この欠陥是正のための県教育委員会の指導措置について、なお研究改善の余地が認められた。

二、公民館の育成と整備のための措置を強化すること。

① 公民館設置基準を設け、水準向上のために指導と援助を強化すること。

近代社会における教育は、十分整備された物的施設を不可欠の要件とする。このことは最近の学校に要求されている施設、設備等に見て明らかである。公民館を住民の振興の拠点とする公民館を住民が身近に近くもつことである。

振興に關して、政府は努力を傾けて力強い指導と援助を行ってきたが、最も具体的な形をとって行われたものは、公民館指導に関する一連の措置であった。民主的な社会教育を自主的に営むためには、郷土振興の拠点となる公民館を住民が身近に近くもつことである。この拠の所こそ新しい社会教育活動の根拠地でもあり、また舞台でもあるからである。

教育が本来人と人との関係を適単に奨励するだけでなく、採用志願者を県の研修施設に收容し、所定の課程を終了した者の採用について経費の補助を行うこと。又現在行われている講習会の断片的な在り方や受講者のその制限のつなかりを改めてこれを組織化し、系統づけ、民間有志者等の新しい編成と活動のうえに、研修施設が担の所となる等々の意は極めて大きく、この施設の設置を希う門は農民の間に高まりつつある。

のみに終っている一部の公民館の現状によって無用と断ずる者さえあると聞くに至っては、もはや一日もこのままに放置すべきではなく、県教育委員会は正しい社会教育の育成のために、市町村当局者が公民館に対して正しい理解と積極的な熱意を傾けるよう、その指導に一段の工夫と改善をほどこすべきである。

三、社会教育を行う者の研修に必要な施設を早急に設置し、運営すること。

教育が本来人と人との関係を適単に奨励するだけでなく、採用志願者を県の研修施設に收容し、所定の課程を終了した者の採用について経費の補助を行うこと。又現在行われている講習会の断片的な在り方や受講者のその制限のつなかりを改めてこれを組織化し、系統づけ、民間有志者等の新しい編成と活動のうえに、研修施設が担の所となる等々の意は極めて大きく、この施設の設置を希う門は農民の間に高まりつつある。

# 生活の中から

## 第二回山間地社会教育研究会

栃尾市教育委員会

社会教育課長 山内 貞次

僻地の社会教育振興上の諸問題  
を協議し、現地における一般住民  
の関心と認識を深めるため九月二  
十七日、二十八日栃尾市中野小学校  
学校において新潟県教育委員会  
長岡、山古志、栃尾市教育委員会  
共催のもとに参加者二百十五名、  
県教育庁よりの増井主事を始め、十  
一名の多数の方々が登場者として  
来会、現地始まって以来の研究会  
が盛大に開催された。

① 講演 大井一星先生が「町村  
行政と社会教育」と題して社会教  
育は政策に先行しなければなら  
ないと二時間三十分、感銘深かつ  
た。

### ② 分科会

- ① 第一分科会 生活改善は何から  
始めたらいいか(環境衛生を  
中心として)
- ② 第二分科会 青年婦人は何を考  
え、何を求めるか
- ③ 第三分科会 辺地において如何  
にして健全な要求を求めるか
- ④ 第四分科会 諸会合に出席しや  
すくするため、家庭環境の構  
成を如何にするか
- ⑤ 第五分科会 改めねばならない  
因襲に、どんなものがあるか
- ⑥ 第六分科会 指導的役割を果し

② 全体討議  
③ 二時間にわたり各分科会代表者  
の報告を山田主事司会のもとに  
時の移るのも忘れての討議であ  
った。最後に来年度の研究会ま  
で「家族の話し合を如何にして推  
進するか」の問題をお互が持ち  
かえることに決定し、その成果  
に期待をかけることにな  
った。

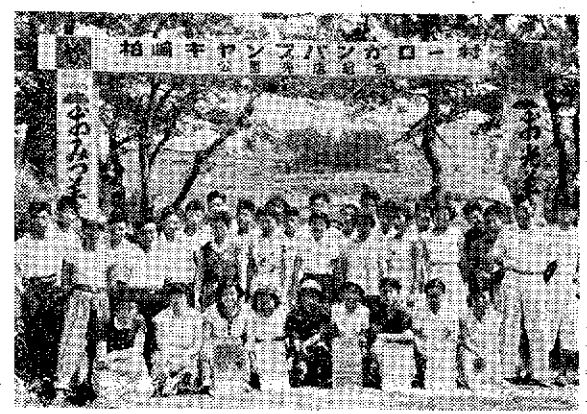
④ 前後祭は「民踊の夕」として  
現地住民二〇〇名の参加を得た  
⑤ 映画会は、五十嵐主事指導の  
もとに「心の晴着」「妻と夫の  
けんか」が上映された。  
⑥ 合宿先は学校教室に分宿、地  
元婦人会、外多数の方々の奉仕  
協力により、カローリも暖房も



写真上は、柏崎市西中通地区青年学級が9月1日に突進した自転車ハイキング

下は、8月15、18日実施した同じグループの柏崎市宮御奇立におけるキャンプ

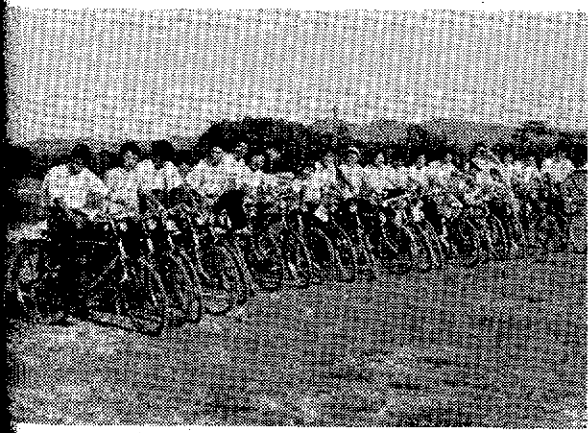
(川西公民館主事 徳岡助夫氏提供)



下越地区職員講習会スナップ  
9月21日・咲花温泉より舟で島下駅へ

⑦ 母親学級を賣して  
入東谷中学校校長 保科 博義  
◎文集「たんぽぽ」を持ち、過半  
数が皆勤賞を与えられた。忙し  
く疲れている母親を先生が、何  
もかも打ち明けて子供のことを  
話す僻地に責められてゆく母親  
学級については、会員の胸をう  
つものがあつた。

⑧ パネル討議  
僻地における経済的貧困は、如  
何にして打開するか  
◎パネルマン並に研究委員一体と  
なつてこの問題を討つた。



石上写真と同じ。新市域一周サイクリングの一行



# (1) 今度こそやれる

## 全島の公民館的役割も

屋根が赤く建物も三五五五もあ、民館を併列型にするような案が、りますので、両津から本郷をバス、教育委員会では考えておられたよにのって、河原田へ入ると、くううううでした。それがあつて今のまうきりよ田んぼの中に、佐和田町公民館の立っているのが目につきます。佐和田町は旧津波町、八輪町、河原田町、二宮村の四ヶ町村が合併されたものです。当初天々の公

右は高野館長さん  
左は伊藤教育長さん



新築なった佐和田町公民館

(1) 佐和田町公民館の巻

(2) 長野県の巻

(佐渡・鳥川特派員)

中野市公民館の千野理事さんは、卓球だけでなく、公民館の前はスクーターにのって、今日は四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

# (2) スポン三着を

## 駄目にした主事さん

「七万二千円の本をよむお母さん、ができました」  
「長野県に十一カ所の配本所(センター)があります」  
「この一つのセンターには、二千三百冊の本が配られています」  
「毎月三〇〇冊の本がどの委託されるんです」  
「本を取り替えるときには、県の係りのものが自動車についで出向いて、佐和田町は、島の文化・交通の中心地だけに、この公民館も町の公民館的役割も大きく果して、れることであります」

「市立の図書館長さんとか、学校長さんから配本所長さんになっていただいています」  
「お母さん方四人づつが一つのグループになって、一冊の本を回覧するしくみです」  
「本は、学校でとりかえてもらって、子供たちがもつてかえるんです」  
「本の交換は、学校の先生方が協力してくれています」  
PTA母娘会とよはれ、十六の教育現場にも紹介されている。予備をみると、各部の配本所の一カ所の経費が十二万円位になっていました。田村は町村での計画に自分の公民館の図書を加えたりして



長野県大町市公民館で

いい研修でした。立派な記録がつくられることでしょう。仲間づくりは、つくるものでなくて、作るものだと思われる。わずかに

# 県教育委員会後援

## 映画・生きていく良寛

このたび良寛和尚誕生二百周年を記念して良寛出生の地である出雲時町をはじめ、各地に多彩な行事がくり返けられました。

当村が企画・製作・撮影した「生きていく良寛」(二巻)は、出雲時町に渡部を訪れ、遺品・遺墨あるいは現在行われている良寛を敬慕する人々の托鉢行などをカメラに捕えそれをを通して、人間自覚を痛めたものであります。

本映画の完成は、小・中学校、公民館の教育活動、視聴覚教育などに大いに役立つものと信じます。

新潟市東中通一ノ八六  
株式会社 新潟映画社  
電話 〇八二九三

(本映画のプリントは八千五百部前後となっております) (の) お目めに御申し込み願います。



泊四月の引揚だったが、同じ飯を食ったこの研修はお互いの仲間づくりの上に、大きな役割を果てくれることあります。

